



記事を読んで問いに答えましょう。

御前崎中は26日、新型コロナウイルスの感染者への誹謗(ひぼう)中傷について考える道徳の授業を全校で行った。各地で起きている中傷の新聞記事を読み、感じたことを共有。「身近な人が感染したらどうするか」をテーマに意見を交わした。

インターネット上の中傷を報じた静岡新聞などの記事に目を通した。身近な人が発熱したり、濃厚接触者の可能性があったりした場合の対応は「心配で声を掛けたいけど、距離を置く」「自分の感染予防をより強化する」など正直な意見が上がった。教員は「病気が不安を呼び、不安が差別を生む」とする

日本赤十字社の資料を基に、思いやりを持つことの大切さを説いた。3年の松林あやさん(15)は「『周りが言っているから自分も言う』というのは良くない」と話し、植田心温さん(14)は「物理的な距離は保ったとしても、心の距離はいつも通りにできるはず」と語った。

## 身近な人 感染したら

御前崎中全校生徒

中傷被害の記事読み意見交換



新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷について意見を述べる生徒＝御前崎中

2020年8月27日朝刊 西部版

① 記事の道徳の授業はどんなテーマで行われましたか。

【 「身近な人が感染したらどうするか」 】

**解答例**

② 記事の道徳の授業では、何を読んで意見交換をしましたか。

【 各地で起きている中傷の新聞記事(浜松の中心街で発生したクラスターに関連するインターネット上の中傷を報じた新聞記事) 】

③ 誹謗中傷など、差別はなぜ生まれるのか。記事に書かれているその原因の1つに線を引きましょう。

④ 身近にいる人が発熱したり、濃厚接触者の可能性があったりした場合、大切にしなければならないことは何だと思いますか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 正しい情報をもとに、思いやりを持って対応すること。(25字)

周りの人が言っていることにただ合わせるようなことはしない。(29字)

正しい判断ができるように、情報を集めて差別のない対応をする。(30字)

など

年 組 名前